

履 歴 書

| 履 歴 書 | | | |
|---------------------------------|--|----------------|---------------------|
| フリガナ 氏 名 | ヨココク (タナカ) タロウ 横国 (田中) 太郎 | 男・女 ※ | 写 真 |
| 生年月日(年齢) | 昭和〇〇年〇〇月〇〇日 (満〇〇歳) | | |
| 国 籍※ | | | |
| 現 住 所 電 話 番 号 e-mailアドレス | 〒 - | | |
| 学 歴 | | | |
| (和暦) 年月 | 事 項 | | |
| 平成〇〇年〇〇月 | 〇〇高等学校卒業 | | |
| 平成〇〇年〇〇月 | 〇〇大学〇〇学部〇〇学科入学 | | |
| 平成〇〇年〇〇月 | 〇〇大学〇〇学部〇〇学科卒業 高等学校教諭一種免許状(情報)(免許番号 平XX高一種第XXXX号) | | |
| 平成〇〇年〇〇月 | 〇〇大学大学院〇学研究科修士課程〇〇学専攻入学 | | |
| 平成〇〇年〇〇月 | 〇〇大学大学院〇学研究科修士課程〇〇学専攻修了(修士(〇〇学)) 高等学校教諭専修免許状(情報)(免許番号 平XX高専種第XXXX号) | | |
| 平成〇〇年〇〇月 | 〇〇大学大学院〇学研究科博士課程〇〇学専攻入学 | | |
| 平成〇〇年〇〇月 | 〇〇大学大学院〇学研究科博士課程〇〇学専攻修了 博士(〇〇学)(〇〇大学) | | |
| 職 歴 | | | |
| (和暦) 年月 | 事 項 | | |
| 平成〇〇年〇〇月 | 〇〇大学〇〇学部非常勤講師(平成〇〇年〇〇月まで)「△△学」 | | |
| 平成〇〇年〇〇月 | 〇〇大学〇〇学部助教(令和〇年〇〇月まで)「△△論」 | | |
| 令和〇年〇〇月 | 〇〇大学〇〇学部准教授(現在に至る)「△△論」 | | |
| 令和〇年〇〇月 | 〇〇大学〇〇学研究科准教授(現在に至る)「△△特論」 | | |
| 学 会 及 び 社 会 に お け る 活 動 等 | | | |
| 現在所属している学会 | 日本〇〇学会、△△学会 | | |
| (和暦) 年月 | 事 項 | | |
| 平成〇〇年〇〇月 | 日本〇〇学会会員(現在に至る) | | |
| 平成〇〇年〇〇月 | △△学会会員(現在に至る) | | |
| 平成〇〇年〇〇月 | ◆◆学会会員(令和〇年〇〇月まで) | | |
| 令和〇年〇〇月 | 〇〇市〇〇委員会委員(令和〇年〇〇月まで) | | |
| 賞 罰 | | | |
| (和暦) 年月 | 事 項 | | |
| | なし | | |
| 現 在 の 職 務 の 状 況 (大 学 等 教 育 歴) | | | |
| 勤 務 先 | 職 名 | 学部等又は所属部局の名称 | 勤務状況(担当授業科目、職務の内容等) |
| 〇〇大学 | 准教授 | 〇〇学部 〇〇学研究科 | 「△△論」 「△△特論」 |

本書類の記載内容については事実に相違なく、虚偽の記載があった場合には、採用取消や懲戒処分等の対象となり得ることについて了承します。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

氏名（自署） 横国 太郎

- (注) 1. ※「性別」「国籍」の記入は任意ですが、ダイバーシティ推進の観点から記入にご協力願います。
2. 「職歴」と「現在の職務の状況」は、該当者のみ記入してください。
3. 過去に学生に対するセクシュアルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分等を受けた場合には、賞罰欄に処分の内容及びその具体的な事由を必ず記入すること。

様式1（履歴書）記入要領

1. 「氏名」の欄について、旧姓等の通称名を使用している場合は（ ）書きで本名を併記してください。
2. 「生年月日（年齢）」の欄の年齢には、採用予定日時点の満年齢を和暦で記入してください。
3. 「学歴」の欄について
 - ① 大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴（大学の別科及び専攻科を含む。）を有する場合、すべての学歴（授与された学位及び称号を含む。）を入学年月も含めて和暦で記入し、それ以外の場合には、最終学歴を記入してください。
なお、博士課程において所定の単位を取得し博士の学位を授与されないまま退学した場合には、「博士課程単位取得後退学」と記入してください。
 - ② 学位については、付記された専攻分野の名称を併記してください。
例. 「工学修士」、「修士（工学）」、「工学士」、「学士（工学）」など
なお、平成3年7月以降に授与された学位は「博士（〇〇）」、「修士（〇〇）」、「学士（〇〇）」となります。
 - ③ 教員、医師、歯科医師、薬剤師、看護師等の資格についても記入してください。この場合、登録番号等も併記してください。外国における資格にあっては、正確に記入するとともに、その資格の内容を日本語で併記してください。
 - ④ 学生としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。
 - ⑤ 外国の大学等の経歴を記入する場合は、大学等の名称や学位等はアルファベットとカタカナを併記し、国名を必ず記入してください。職歴についても同様の体裁にしてください。
 - ⑥ 特に海外の学位については、学位記の記載どおり正確に記入してください。
4. 「職歴」の欄について
 - ① すべての職歴を和暦にて時系列で記入するとともに、職名、地位等についても明記してください。
 - ② 各職歴について在職期間を明確にし（行末のカッコ内に終了時の年月を和暦で記入）、現職については終了時の年月の代わりに（現在に至る）と記入してください。
 - ③ 研究者としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。
 - ④ 大学教員の職歴については、主な担当授業科目を行末に「 」で併記してください。
5. 「学会及び社会における活動等」の欄について
 - ① 「現在所属している学会」には、書類提出時点において所属する学会の名称を記入してください。
 - ② 学会及び社会における活動等のうち、専攻や研究分野等に関連する事項を記入してください。
 - ③ 「事項」には、現在所属している学会と過去に所属していた学会のすべてについて、会員又は役職名を時系列にて和暦で記入してください。

また、現在委嘱を受けている委員会等と過去に委嘱を受けた委員会等のすべてについて、委員又は役職名を記入してください。

なお、いずれの事項も、在職期間を明確にし（行末のカッコ内に終了時の年月を和暦で記入）、現職については終了時の年月の代わりに「現在に至る」と記入してください。

- ④ 教育研究上の業績を有する場合、その内容を具体的に記入してください。

6. 「賞罰」の欄について

- ① 学会や出版社からの表彰や職務上の表彰や懲戒処分、研究費の不正受給に係る処分等を記入してください。
- ② 上記等の事項がない場合は、年月欄を記入せず、事項欄に「なし」と記入してください。
- ③ 過去に学生に対するセクシュアルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分等を受けた場合には、賞罰欄に処分の内容及びその具体的な事由を必ず記入してください。

7. 「現在の職務の状況」の欄について

- ① 「現在の職務の状況」の欄には、書類提出時点における職務の状況について記入してください。
- ② 「職名」については、大学等の教員の場合は、『教授』『准教授』等の職位を記入してください。それ以外の職に従事している場合は、『取締役』『理事』等の職名を記入してください。職名が無い場合は『-』を記入してください。
- ③ 「勤務状況」については、大学等の教員の場合は、担当授業科目を記入してください。それ以外の職に従事している場合は、職務の内容を簡潔に記入してください。

| 教育研究業績書 | | | | |
|---|-----------------------------------|--|---------------------|----|
| 令和 年 月 日 | | | | |
| 氏名(自署)※ | | | | |
| 横国 太郎 | | | | |
| 研究分野 | | 研究内容のキーワード | | |
| ○○○○○ | | ○○○○○、○○○○○ | | |
| 教育上の能力に関する事項 | | | | |
| 事項 | 年月日 | 概要 | | |
| 1 教育方法の実践例 ①○○○○○○○○○ | 令和○年○月～ 令和○年○月 | ×××××××××××××××××× ×××××××××××××××××× ×××××× | | |
| ②○○○○○○○○○○○ | 令和○年○月～ 令和○年○月 | ×××××××××××××××××× ×××××××××× | | |
| 2 作成した教科書, 教材 ①○○○○○○○○○ | 令和○年○月～ 令和○年○月 | ×××××××××××××××××× ×××××××××××××××××× | | |
| ②○○○○○○○○○○○○○○○ | 令和○年○月～ 令和○年○月 | ×××××××××××××××××× ×××××××××× | | |
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価 ①○○○○○○○○○○○○○ | 令和○年○月～ 令和○年○月 | ×××××××××××××××××× ×××××××××××××××××× | | |
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項 ①○○○○○○○○○ | 令和○年○月～ 令和○年○月 | ×××××××××××××××××× ×××××××× | | |
| 5 その他 ①○○○○○○○○○ | 令和○年○月～ 令和○年○月 | ×××××××××××××××××× ×××××××××××××××××× | | |
| 職務上の実績に関する事項 | | | | |
| 事項 | 年月日 | 概要 | | |
| 1 資格・免許 ①○○免許(免許番号 第12345号) | 平成○○年○○ 月○日 | | | |
| ②△△免許(免許番号 第6786号) | 令和○年○○月 ○○日 | | | |
| 2 特許等 | | なし | | |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項 ①○○株式会社○○部課長 | 令和○年○○月 ○○日～ 令和○年○○月 ○○日 | ○○部の課長として, ○○について調査し, その結果を○○に発表した | | |
| 4 外部資金の獲得実績 ①科学研究費○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○ | 令和○年度～ 令和○年度 | 令和○年度: ○○○○円 | | |
| ②日本学術振興会○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○ | 令和○年度 | 令和○年度: ○○○○円 | | |
| 5 その他 | | なし | | |
| 研究業績等に関する事項 | | | | |
| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |

様式2（教育研究業績書）記入要領

1. 「氏名」の欄について

「氏名」の欄は、本人が自署してください。

2. 「研究分野」及び「研究内容のキーワード」の欄について

- ① 「研究分野」の欄には、科学研究費補助金応募の際に利用する「審査区分表」の小区分レベルの名称を用いて、研究分野の主なものを1つ以上3つ以内、「研究内容のキーワード」の欄には研究内容を表すキーワードを1つ以上5つ以内で記入してください。
- ② 専攻分野についての実務等の知識や経験を有する者（実務家教員）としての審査を希望する場合（実務家教員の募集時に限る）には、「研究分野」の欄に「〇〇に関する実務」と記入し、「研究内容のキーワード」の欄に職務内容を表すキーワードを5つ以内で記入してください。

3. 「教育上の能力に関する事項」及び「職務上の実績に関する事項」の欄について

- ① 「事項」の項には、各区分に該当する担当予定授業科目に関連する教育上の能力及び職務上の実績に関する事項を過去から現在まで簡潔に記入してください。
- ② 「年月日」の項には、当該事項に係る実施時期、発表時期、従事期間等を和暦で記入してください。
- ③ 「概要」の項には、当該事項に係る内容の概要のほか、当該活動における地位や役割、成果も記入してください。
- ④ 「教育上の能力に関する事項」の例

ア 「1 教育方法の実践例」について

※教育機関において授業科目を担当している教員が、学生（児童・生徒を含む）の理解促進のために工夫を凝らした分かりやすい授業を実施しているかを記入してください。

（例）優れた教育方法の実践、ICTを活用した授業実践、ICT教育環境整備の経験、学生の授業外における学習促進の取り組み、講義内容のwebでの公開等。

イ 「2 作成した教科書、教材」の例

※作成した教科書、教材等の概要。

研究業績の「著書、学術論文」との重複も可としますが、その場合は、本項目の概要欄に（○頁「(番号と名称を記載)」を参照）と記入してください。

ウ 「3 教育上の能力に関する大学等の評価」

※教育上の取り組みに対して大学から特に高い評価を受けた場合のみ記入してください。

（例）各大学における自己点検・評価での評価結果、学生による授業評価、教員による相互評価等の結果、上記以外で学長、学部長等が行った評価

エ 「4 実務の経験を有する者についての特記事項」

※成果を上げた教育に関する取り組みを記入。

（例）大学から受け入れた実習生等に対する指導歴（教育・保育実習、企業実習等）、企業内教育、大学公開講座、社会教育講座の講師としての講義、シンポジウムにおける講演等の概要、所属機関や関係機関等において行った職員・関係者等に対する講義・講習・

指導，海外等における留学，調査研究経験等

オ 「5 その他」

※大学教育改善に関する団体等での活動の概要、教育実績に対する表彰等

⑤ 「職務上の実績に関する事項」の例

ア 「1 資格、免許」

○ 教員、医師、歯科医師、薬剤師、看護師等の資格で担当予定授業科目に関連するもの

イ 「2 特許等」

○ 特許、実用新案等で担当予定授業科目に関連するもの

ウ 「3 実務の経験を有する者についての特記事項」欄

履歴書の「職歴」欄に記載した事項を中心に、担当する教育内容等に関連する実績について、従事した期間、役職職務の内容（どのような職務について、どのような役割を果たしたか）及び成果、結果を記載。

（項目例）

○ 企業、官公庁等の研究者の場合

・ 開発した新製品・製法などの概要

・ 大学との共同研究による研究実績がある場合、その概要・成果・当該研究者の役割

○ その他、企業・団体等関係者

・ 国際開発，先端技術，国際金融等高度に専門的な実務に従事した実績

○ 情報技術者関係の場合

・ コンピュータに係る職務歴（職務上のコンピュータ活用法，ソフト・システム開発歴）

○ その他全般を通じて

・ 監査・与信・企業提携・研究開発等の担当実績

・ 各種審議会・行政委員会等の委員

・ 行政機関における調査官等

・ 研究会・ワークショップ等での報告

・ 調査研究，留学，海外事情調査等

・ 上記を裏付ける報告書，手引書，マニュアル，雑誌等

エ 「4 外部資金の獲得実績」

○ 科学研究費補助金等の補助金、共同研究、その他の研究助成金等について記入

○ 研究代表者・分担者の別、研究題目を「概要」欄に記入

オ 「5 その他」

○ 職能団体等からの実務家としての卓越性に関する評価・推薦等

○ 論文の引用実績等

4. 「研究業績等に関する事項」の欄について

① 「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表のものは記入できません。

ただし、未発行（未掲載）ではあるが、論文が採録決定済みであり、採録決定通知（写）を提出できる場合には、当該通知を添付した上で記入いただくことは可能です。

② 「著書、学術論文等の名称」の項について

- ア 研究等に関連する主要な業績を、「(著書)」、「(学術論文)」、「(その他)」の項目に適切に区分し、各業績を発表順に通し番号を付して記入してください。
- イ 著書については、書名を記入してください。
- ウ 学術論文については、国際学術雑誌、学会機関紙、研究報告、紀要等に学術論文として発表したものの題名を記入してください。学位論文、査読付き論文、その他の論文に区分して記入してください。学位論文についてはその旨(修士論文、博士論文、など)明記し、査読付きの論文については、題名の後に「(査読付)」と記入してください。
- エ その他(発表要旨等を含む)については、総説、学会抄録、依頼原稿等にあつては当該記事のタイトルを、報告発表、座談会、討論等にあつては当該テーマを記入してください。
- オ プロシーディングのうち、査読と審査を経た評価の高いものについては、その他に記載し、学術論文に相当する旨を概要に記載してください。
- カ 著書、学術論文等が英語以外の外国語の場合、著書名等(共著の場合は本人担当部分の章、節、題名も含む)はその外国語で記入するとともに、()書きで訳文を記入してください。
- ③ 「単著・共著」の項には、当該著書等に記載された著作者が単独である場合には「単著」、著作者が複数いる場合には、監修、編集、編著、共著、部分執筆等の関わり方によらず「共著」と記入してください。(一冊の本を数人で執筆した場合は、当該部分が単著であっても、共著として記入してください。)
- ④ 「発行又は発表の年月」の項には、当該著書等の発行又は発表の年月を和暦で記入してください。
- ⑤ 「発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称」の項について
- ア 著書については、発行所を記入してください。
- イ 学術論文等については、発表雑誌等の名称、巻・号、掲載ページ等を明記してください。
- ウ 報告発表等の場合には、学会大会名、開催場所等を明記してください。
- ⑥ 「概要」の項について
- ア 当該著書等の概要を200字程度で記入してください。
- イ 当該著書等が共著の場合には、本人の担当部分の章、節、題名、掲載ページ(例. pp:○○～○○)を記入するとともに、本人の氏名(下線を付すこと。)を含め著作者全員の氏名(多数にわたる場合は主要な共著者の氏名)を当該著書等に記載された順に記入してください。(例. 編者△△△△、分担執筆○○○○、□□□□、××××)
- また、本人の担当部分の抽出に困難があるときは、その理由を記入してください。(例. 「共同研究により担当部分抽出不可能」など)